

長年の願い、完成に感謝

県道長島宮之浦港線(平尾工区)開通

3月29日、県道長島宮之浦港線(平尾工区)の開通記念式典が行われました。道路の完成を受けて、同線は待望だった全区間二車線化となりました。

式典には、川添健町長をはじめ、小里泰弘衆議院議員や中村素子県議会議員のほか、地元住民など関係者が出席しました。



二車線化した平尾



記念碑の前で完成を祝う関係者ら

着工前の平尾地区の道路は幅が狭かったため、交通に支障をきたしていました。平成24年、地元住民らは早期拡幅を願い、沿道にたくさん「黄色いハンカチ」を掲げました。住民の気持ちに寄り添いたいと、黄色いスクーフを身に付けた地元選挙区の中村素子議員は「住民の皆さまの強い思いが現実のものとなりました」と話しました。



着工前の平尾(南日本新聞 平成24年8月28日掲載)

道路全体図



式の最後には、平尾大字委員会長の山崎友喜さん(母良木)が「道路は完成すると当たり前のように通行しますが、建設する時は大変です。一つの事業の完成には多くのかたのご協力があったからこそ、感謝の気持ちでいっぱいです」と地元住民を代表して感謝を述べました。

基幹道路の完成により、今後は平尾地区のみならず、町のさらなる発展に大きく貢献することになります。



感謝の気持ちを述べる山崎区長